

○井神議長 13番、福山晴美議員、総括方式で質問をお願いします。

福山晴美議員。

○福山議員 おはようございます。よろしくをお願いします。

13番、福山晴美です。議長のお許しを得ましたので、通告に従い一般質問します。

1点目は、スマホの認識について、2点目、岩出市の観光事業について、質問させていただきます。

まず、1点目のスマホの認識についてであります。

近年、携帯電話やスマートフォンの急速な普及に伴い、子供たちのインターネットの利用環境が大きく変化し、そのために新たな問題が多発しています。

私たち総務文教常任委員会では、5月20日、スマートフォンの取り扱いに取り組んでいる愛知県刈谷市に視察に行ってきました。刈谷市では、2014年4月から携帯電話やスマートフォン等の安全な使用のお願いの取り組みを始めました。必要のない携帯電話やスマートフォン等を持たせない、携帯電話やスマートフォン等を契約する際には、親子で約束をしっかりと結び、フィルタリングサービスを受ける、これは解除しない、夜9時以降、お子さんから携帯電話やスマートフォン等を預かる、保護者の目の届くところに置くということでありました。

背景には、無料通話、アプリソフト、LINE等を使ってのトラブルや犯罪に巻き込まれるといった事例が市内でも起きてきたからだそうです。子供たちの中には、メールの返信に気をとられ、自分の生活に集中できなくなっている実態があるのです。遅くまでLINEをしているため、自分の時間が持てなくなり、勉強する時間も少なくなり、学力にも、もちろん影響します。

少し前までは、例えば、夜中にたくさん使うと通話料とか通信料が高くなって、親御さんはどうしたんやろうかとか気づくわけですが、スマホはどれだけ使っても無料で、その中でどれだけの時間、スマホと向き合っているのか、何をしているのか、親御さんにはわからないのです。子供たちは、送られてくるメールに返信をしなければ仲間外れにされたくないから、どうしてもつき合ってしまう。断れずにいるわけです。

刈谷市では、夜9時以降、保護者に預けることで、親に携帯を渡しているから知らなかったと言える言いわけの後ろ盾になるものを用意したのです。それによって、この取り組みを始めて1カ月後、勉強の時間がふえた。トラブルを防げる等保護者の子供たちから生活の改善につながったと歓迎する声が上がったと聞いています。

岩出市でも、スマホの使用率が高いと聞いています。いろいろな問題が出ている

のではと思っていますが、そこでお伺いします。

1 番目、児童・生徒の現状について。

2 番目、現時点での市教委の対応は。

3 番目、今後の市教委の対応予定は。

2 点目、根来寺周辺観光促進事業の整備計画について、お聞きします。

根来寺周辺観光促進事業については、市長が行政報告の中でも、旧和歌山県議会議事堂とねごろ歴史資料館のオープンと岩出市誕生10周年記念事業に合わせて、平成28年4月1日にオープンしたいと考えていると言われていました。ことしは、京奈和自動車道の岩出インターも開通が予定されており、岩出市の玄関が大きく変わろうとしています。昔から根来寺は、春は桜、夏は蛍、秋はもみじと、すばらしい自然があります。

最近、それに泉佐野岩出線を車を走っていると、道沿いに何本もの桜の木が植えられています。去年は小さくて細くて、この木、大丈夫かなと思っていたんですが、ことしは随分大きくなっていました。この桜の木が大きくなって、花を咲かすようになると、岩出市に来られる人たちを最高のおもてなしでお迎えするのではないかと考えています。何年か先、私は、この道が根来寺桜街道と呼ばれるようになればと期待しています。今も言ったように、根来寺周辺には観光資源が集中しており、訪れる人たちを楽しませてくれています。

今回、旧和歌山県議会議事堂とねごろ歴史資料館の2つのオープンすることによって、より皆様に利用していただけるのではと思っています。大門から旧和歌山県議会議事堂へ、そして、ねごろ歴史資料館へ、根来寺へ、民俗資料館へと、散策のコースの1つとして、1日ゆっくり楽しまれるのもいいのではと思っています。

市民の皆様はもちろんのこと、県内外からのたくさんのお客様をお迎えするに当たり、周辺観光整備が本当に大切だと思っています。どのように整備計画をされているのかをお聞きいたします。

○井神議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

教育部長。

○秦野教育部長 おはようございます。

福山議員ご質問の1番目、スマホの認識について、お答えいたします。

これまで教育委員会では、ウェブサイトにて保護者の方々に対し、スマホ等の使用のルールを家庭で話し合い、守らせるよう啓発するとともに、教育委員会から各学校に対し、その便利さと危険性や情報モラル等について、機会あるごとに児童生

徒へ啓発を行うよう指導してきたところであります。

さて、児童生徒の現状ですが、平成26年度の全国学力・学習状況調査結果によりますと、携帯電話やスマートフォンの所有率は、小学6年生で、全国平均53.7%、和歌山県平均53.8%に対し、本市では57.9%、中学3年生では、全国平均76.5%、県平均80.9%に対し、本市では88.6%となっています。また、2時間以上通話やメールをする、この中にはスマートフォン等を使ってのゲームの時間は含みません。そういった児童・生徒の割合は、小学6年生で、全国平均8.7%、県平均9.8%に対し、本市では11.6%、中学3年生では、全国平均32.7%、県平均38.8%に対し、本市では49.5%となっています。

また、スマートフォン等の使用時間と学力との相関関係が、全国的な傾向として明らかになっており、使用時間の短い児童・生徒ほど学力が高く、使用時間の長い児童・生徒ほど学力が低い傾向にあります。さらに、岩出市の児童・生徒は、テレビ等の視聴時間、ゲームをする時間やスマートフォン等を使用する時間が、全国や県平均に比べ長くなっており、その分、家庭での学習時間が短くなっている状況であります。

なお、スマートフォン等によるトラブル等につきましては、和歌山県警察が実施しているネットパトロールにより、個人情報に掲載していたり、非行につながる言動があったり、不適切な書き込みがあった場合は、教育委員会に連絡が入り、学校を通じて個別に指導するケースはありますが、現時点では、深刻ないじめ等の事案は報告されていません。

しかし、LINE等に返信しなかった場合、グループから無視されたりすることを恐れる余り、届いたメールにはすぐ返信できるようにするため、夜中までスマートフォン等を手放せないでいる児童・生徒がいたり、いじめにつながるような事案が起こったりしているのも事実であります。

次に、現時点での市教委の対応についてであります。

今申し上げたとおり、本市ではスマートフォン等によるトラブルを防止するとともに、家庭での学習や家族団らんの時間をふやすため、早急な対応が求められています。

そこで、去る5月7日に開催されました岩出市PTA連合会総会において、先ほどお答えしたような児童・生徒の現状を説明するとともに、学校、保護者、教育委員会が連携しながら、スマートフォン等の使用制限に向けた動きをつくっていきたい旨を伝え、協力を依頼しました。もちろん、学校に対しては児童・生徒への啓発

の強化を指示しています。

また、スマートフォン等の使用に関する啓発資料を新たに掲載した家庭学習の手引「いわでの子」の改訂版を作成し、近々、全保護者に配布するとともに、市政懇談会でも配布する予定であります。

今後の対応予定につきましては、対象範囲を全国学力・学習状況調査よりも拡大した児童・生徒の実態調査を実施し、その実態に基づいて児童・生徒への啓発をさらに強化してまいります。

具体的には、全ての学校でスマートフォン等の使用に関する特設の授業を実施し、身近なトラブルや困った経験等を紹介しながら、使用について考えさせたり、長過ぎる使用は学力にも影響することや、このままスマホ漬けの生活を続けていると、高校生になるころには、スマホ依存症に陥る危険性もあり、小中学生のうちに改善しておく必要があることなどについて、指導することとしています。

また、福山議員のご質問の中にもありましたが、愛知県刈谷市では、午後9時以降は、保護者がスマートフォン等を預かる運動を展開していますが、本市においても、家庭・学校・地域・教育委員会等が連携し、啓発運動が展開できるよう、この趣旨に賛同いただける各種団体にも協力を呼びかけてまいります。

このように、教育委員会といたしましては、今まで以上にスマホ等の取り組みを強力に推進してまいりますので、議員の皆様もこの趣旨をご理解いただき、ぜひご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○井神議長 事業部長。

○船戸事業部長 おはようございます。

それでは、福山議員ご質問の2番目について、お答えいたします。

根来寺周辺観光促進事業に当たっては、根来寺周辺の観光拠点整備として、ねごろ歴史資料館の建設事業を行っているところです。

事業につきましては、旧県議会議事堂、岩出市民俗資料館、市立図書館などの公共施設並びに根来寺や周辺の事業所と連携するものとし、ねごろ歴史資料館、旧県議会議事堂を拠点として、地域の歴史や自然環境を学習する場、憩いの場、観光交流の場として活用し、地域の人々にも親しまれる整備・活用を目指しています。

ねごろ歴史資料館では、埋蔵文化財出土品展示施設として、出土品実物だけでなく、映像を用いた根来寺の軌跡の紹介、根来寺の始まりなど、根来寺を中心として発展した地域の全体像を伝える展示とし、訪れる人々に史跡根来寺の魅力を伝え、史跡を活かした観光振興を図ります。別棟では、物販、飲食施設やトイレ、駐車場

も備えた便益施設を整備し、観光地としてのにぎわいをつくります。

また、隣接する旧県議会議事堂は日本最古の木造和風議事堂建築で、明治期の和歌山県議会の様子を伝える貴重な建物であります。建物内では、県議会に関する資料の展示を行うほか、喫茶室、展示室、物販室などもあり、議場での会議、講演会、演奏会などの利用のほかにも、観光・文化情報の発信拠点として、地域の振興を図ると同時に、根来街道グリーンツーリズムなど、近隣市町との広域連携に基づく観光振興に役立てていきます。来年4月1日、供用開始を目指し、事業の計画を進めているところです。

今後の事業計画といたしましては、ねごろ歴史資料館から大門までの歩行経路の整備や大門前に小公園の整備、並びに史跡の説明や見どころを案内するため、多言語での案内看板の設置など、観光地としてふさわしい施設の整備を行う計画であります。

さらに、安心して散策していただけるよう広域農道への歩道の設置を行い、観光客の利便性を確保することにより、国内外からの来訪者を受け入れ、地域の活性化を図ってまいりたいと考えています。

○井神議長 再質問を許します。

福山晴美議員。

○福山議員 まず、1点目のスマホに関してですが、現時点では、岩出市で深刻ないじめ等の事案は、まだ報告されていないようなんですけども、このいじめというのは、なかなか表面に出にくいもので、そして、スマホでのいじめの始まりというのは、メールを送ったときの1つの文字が打ち足りなかったために、相手はそれは命令なんと思ったり、クエスチョンマークがなかったから、それは決めつけになったり、読んでいるのに返事がないのは、しかとしているのかとか、ちょっとしたことから始まってしまうわけです。目と目を見て話すこととか、おかしいなと思ったら、きちんと話をして聞き直す。本当に会話の大切さ、コミュニケーションの大切さを考えてみるというのがとても大事だと思っております。それについて、お考えをお聞きしたいと思います。

次に、先ほども答弁にありましたが、特設の授業を実施されると言われてました。これは、今、もうたくさんの子供たちがスマホを持っているし、これからもどんどんふえてくると思っております。そうした中で、全ての学校でスマホの使用に関する特設授業を実施されるのであれば、小学校の低学年から指導して、そして、よりわかりやすくするために、学年別の指導にさせていただいたほうがよいのではと思っ

ておりますので、そのお考えもお聞きしたいと思っております。

そして、先ほどから何回も言っていますが、次に、夜9時以降、親にスマホを預ける取り組みについては、今、全国に広がりつつあります。この取り組みというのは、本当に保護者の協力が絶対に必要であり、自分の子供は大丈夫と思わずに、自分の子は自分で守るという気持ちで一緒に取り組んでいただきたいと思います。そして、岩出市としても、一日でも早く取り組んでいただけたらと思っておりますので、よろしくお願ひします。

もう一つの質問、2点目の質問なのですが、先ほど、旧県議会議事堂の使い方なのですが、イベントをやることによって、たくさんの人たちが訪れると思うんです。そして、そのことを知ってもらうということは大事だと思います。さっき、演奏会が可能と言ってたんですけども、私の友人も音楽をやっていて、あっちこっちでコンサートというのを開いているわけなんですけど、もしここでそういう演奏会、コンサートができればいいと思っても、いろんな問題があると思うんですけど、どういうジャンルの音楽でも大丈夫なのかどうなのか、教えてください。

○井神議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

教育部長。

○秦野教育部長 福山議員の再質問にお答えいたします。

3点あったかと思いますが、1点目のコミュニケーションについての考え方ということについてなのですが、最近の子供たちは、ご存じのように、友達と遊ぶといってもゲームなどをしたり、漫画の本を読んでいたりと、一緒に集まっているんだけど、一緒に話をしたり、体を動かして遊んだり、そういうコミュニケーションが不足しているように思います。

最近の学校教育の中では、子供たちのコミュニケーション力を高めるために、ソーシャルスキルトレーニングといって、コミュニケーション力を高める、そういったプログラムがありまして、そういうのを導入している学校もあります。

一方、最近、教師の側から見ますと、やはりゲーム世代の若い教員が教壇に立つようになってきて、やはりコミュニケーション力を鍛えていく必要があるなというふうに感じています。特に、福山議員がおっしゃった子供たちの悩みを受け入れるという点については、教師が子供たちの悩みを受け入れるために、何でも気軽に相談できる温かい雰囲気のある教室集団というのが必要になると思います。そのために、おはようの挨拶から始まって、子供の小さな変化を見逃さず、タイムリーに声をかけていく。そういった日ごろから子供と教師のコミュニケーションというのが重要

になってくると思います。

また、あんまり目立たない、おとなしい子供というのが見落とされがちになるわけですが、教師は教育のプロとして、一人一人の子供の様子をしっかりと見取る目、あるいは個に応じた対応ができる力が求められています。そういったことについては、学校訪問などの機会を通じて、そういった力の向上策について、紹介しているところではあるんですが、今後も学校を指導してまいりたいと考えています。

2つ目の特設授業について、よりわかりやすくというお話だったかと思うんですが、教育委員会としましては、実態調査をまず行って、その実態調査に基づいて、小学校は低・中・高学年別に、それから中学校は全学年、同じ内容で授業を行うイメージを持っています。ただ、実態調査の結果によりましては、中学校も学年ごとに内容を変える必要があるかもしれませんし、実態調査の結果を見た上で、内容については学校と協議していきたいと考えています。

3つ目の9時以降の刈谷市のような運動ということについてなんですが、スマートフォン等の使用で困っている子供を早く救いたいという思いは、福山議員と同じであります。ただ、使用状況や具体的にどんなことで困っているかというようなことをきちんと把握する必要がありますし、岩出市PTA連合会との合意形成も不可欠であると考えます。そのため、もうしばらく時間が必要であると思います。

こういったことを踏まえて、実態に合った対策を検討し、できるだけ早期に刈谷市のような運動が展開できるように努めていきたいと考えています。

以上でございます。

○井神議長 事業部長。

○船戸事業部長 再質問にお答えします。

旧県議会議事堂の議場は、幅18.2メートル、奥行き22.7メートルで、約125坪ございます。会議、講演会、シンポジウムなど、寄席や映画会、また音楽関係の演奏会などの利用を想定しています。

ご質問の演奏会のジャンルなんですが、建物の構造から、機密性や遮音・防音性能は期待できませんので、大音量や騒音の発生する催しには向いておりませんので、大きな音響設備を用いてのロックコンサートなどはお断りすることとなっております。

以上です。

○井神議長 再々質問を許します。

福山晴美議員。

○福山議員 1点だけお願いします。

さっき、生徒と先生のコミュニケーションがすごく大事であって、認識されているわけです。でも、学校の先生方も、やっぱりいろんな悩みを持ちながら毎日学校に行かれると思うんです。そういう先生方のコミュニケーションというんですか、校長先生と先生方とのつながりの中も、とても大事だと思うんです。1人の先生が1クラスの何十人もの生徒を見ていく中で、いろんな戸惑いとか悩みとかあると思うんですが、そういった意味で、先生方のコミュニケーションのほうも大事にしていっていただけたらありがたいと思うんですが、済みませんが、お考え、お願いします。

○井神議長 教育部長。

○秦野教育部長 福山議員の再々質問にお答えいたします。

教師同士のコミュニケーションということについてなんですが、岩出市の学校は、どの学校も1学年単学級という学校はございません。複数の学級で学年集団を形成していますので、まず学年の担当同士でのコミュニケーションというのは、常日ごろから、授業の進め方であったり、自分のクラスの子供の指導の悩みであったり、そういったことを十分交流するようにはしております。また、管理職については、職員の状況をきちんと把握して、メンタルヘルスを含めて、教員同士のコミュニケーション力を高めていくということが必要であると考えております。

○井神議長 以上で、福山晴美議員の一般質問を終わります。